

韓国語の与格助詞“ege”とその代用形態

—意味機能及び生起条件について—

安祥希

キーワード：与格の交替、代用形態、無生物化、使役性

1. はじめに

日本語の動作・作用を受ける相手、対象の二格に相当する韓国語の助詞は“ege/e!”である。通常、先行名詞が無生物の場合は“e”を、有生物の場合は“ege”を用いるとされる。

- (1) 타로-의 의견-에 찬성합니다.

talo-ui uigyeon-e chanseonghabnida.

太郎の 意見 に 賛成します。

- (2) 그-는 돌이-에게 가라고 명령했다.

(李 1986²)

geu-neun doli-ege galago myeonglyeonghaessda.

彼 は ドリ に 行けと 命令した。

(2)のように先行名詞が有生物の場合、日韓で違いが見られる。日本語は二格一つで表すところを韓国語は“ege”の代用形態³として三つの形態(“hante”、“deoleo”、“bogo”)を用いることができる。

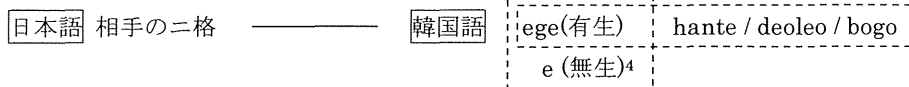
- (3) 그-는 돌이-한테/더러/보고 가라고 명령했다.

(同上)

geu-neun doli-hante/deoleo/bogo galago myeonglyeonghaessda.

彼 は ドリ に 行けと 命令した。

上記の説明をまとめると以下となる。



¹ 例文のローマ字表記は、文化観光部告示「第 2000-8 号(2000)」に従う。本稿におけるローマ字表記は、先行研究の例を含め、全て筆者によるものである。助詞の前にはハイフン(-)を入れておく。

² 日本語訳は筆者によるものである。文法性の判断は李(1986)による。

³ 最初に「代用」という表現を使ったのは、홍(洪 1947)である。李(1986)で「代用形態」という表現を使っているが、本稿もこれに従う。そして、“ege”の尊敬形として「예(kke)」が存在するが、これは代用というより文体による違いであると考えられるため、本稿の対象外とする。

⁴ ここでの“ege(有生)”と“e(無生)”は、とりあえず、現段階での記述となる。

ここで、以下の例を見てみる。

(4) 하나코-에게/한테/*더러/*보고 고민-이 생겼다.

hanako-ege/hante/*deoleo/*bogo gomin-i saenggyeossda.

花子 　　　　　　に 　　　　　　悩み事が 出来た。

“ege”が使われた(4)を“hante”に置き換えることは可能であるが、“deoleo”と“bogo”との置き換えは許されず、“ege”の代用形態として自由に用いることはできない。

一方、冒頭で“e”と“ege”の使い分けは先行名詞が有生物か無生物かで区分されるとしたが、以下のような例についてはどのように説明すれば良いのか。(5)の「その若い映画俳優」は有生物であるが、無生物に付くとされる“e”をとる。

(5) 10년 전, 그 젊은 영화배우-에 열광해서 전국-을 뛰어다녔다.

10nyeon jeon, geu jeolmeun yeonghwabaeu-e yeolgwangheaseo jeongug-eul ttwieodanyeotda.

10年 前、その 若い 映画俳優 に 熱狂し 全国 を 飛び回った。

本稿は、最終的には日韓の与格助詞の対照を目指すものであるが、ここでは、その一つの段階として韓国語の与格について検討を行うものとなる。日本語では二格一つで示されるところが、韓国語ではなぜ三つも異なる代用形態が存在するのが本稿の出発点である。従来の研究では、“ege”の代用形態である“hante”に焦点が置かれたものが多く、“deoleo”と“bogo”は周辺的なものとされ、その詳細まで記述されたものは少ない。

そこで、本稿は“ege”と“e”、そして“deoleo”、“bogo”を研究対象とし、それらの意味機能と生起条件について検討を行う。例文は、コーパス⁵から採集したものについては出典を示し、それ以外のものは作例である。

2. 先行研究の概観

2.1 中西(2010)

中西(2010)は、二格と“ege”を対照研究したもので、“ege”にはあって二格にはない機能として以下のような例文を挙げている。

(6)a. 그 사람-이 나-에게 왔다.

geu salam-i na-ege wassda.

b. *その人が私に来た。

(p.27)

⁵ 出典は、最後の用例出典を参照されたい。

二格は、(6b)のような「有生物⁶+ニ」の場合、到達点として機能することはないとした。しかし、日本語でもこのような文が成立する場合がある。

(7) 手紙が花子に行った。 (和氣 2002:46)

和氣(2002)は、(7)が成り立つのは「事象の完了時にモノがヒトに所有されるという読みが可能な場合には、二格の項にヒト名詞が立てる。(p.46)」と説明している。和氣(2002)の議論に照らすと、(6b)のような文が成立し得ないのは、ヒト名詞が空間としてその中にヒト名詞全体を物理的に内包させることができないためとなる。

中西(2010)は、二格が有生物を含め、具体物を包括するような空間を表すことはできずとし、二格の性質を「対象の平面化」とみた。一方、“ege”は、「到達点」と「所有者」の機能を持つため、具体物を包摂する空間を持たない有生物に具体物の所持を許すスペースを与える働きをするとし、“ege”の性質を「対象の空間化」としている。

このように二格と“ege”の性質の違いがあることを確認したところで、韓国語の“e”と“ege”の先行名詞について考えてみる。

論者によってはこれらを変異形と見る立場と完全に別個の助詞として見る立場に分かれるが、これについて本稿は立ち入らない。何れにせよ、先行名詞の意味特徴を生起条件とする見方は基本的に妥当であると考えられる。しかし、以下の(5)、(8)のような例が確かに存在することを考えると、先行名詞で使い分けされるとする従来の記述の妥当性については再度検証する必要があると考えられる。

中西(2010)でも「有生物+“e”」について触れている。(8)の“ege”は筆者による追加である。

(5) 10년 전, 그 젊은 영화배우-에/에게 열광해서 전국-을 뛰어다녔다. (再掲)

10nyeon jeon, geu jeolmeun yeonghwabaeu-e/ege yeolgwangheaseo jeongug-eul ttwiedanyeotda.

10年 前、その 若い 映画俳優 に 熱狂し 全国 を 飛び回った。

(8) 노박 조코비치(세르비아 테니스 스타)-에/에게 반했어요. (中西 2010:32)

nobag jokobichi (seleubia teniseu seuta)-e/ege banhaesseoyo.

ノバグジョコビッチ(セルビアのテニススター)に惚れました。

中西(2010)は、「有生物+“e”」は、先行名詞が集合名詞か概念語として捉えられる場合に多く観察され、(8)のような単数の有生物の場合は、「반하다(惚れる)、열광하다(熱中する)、미치다(狂う)、동정을 느끼다(同情する)などの場合に多く観察される。[中略]「距離を置いて向かい合う相手」に一方的に働きかけるケースである(p.32)」と述べている。中西(2010)の取り上げた例は、「快感を感じる、同情する」など感情動詞が多く、感情などの移動の方

⁶ 中西(2010)は、「有情物」としている。

向が一方的であることは確かである。ところが、以下のような例はどうであろうか。

(9) 검사-는 이씨-에/에게 공소장-을 발송했다. [東亜日報 2008]

geomsa-neun issi-e/ege gongsojang-eul balsonghaessda.

検事 は 李氏 に 公訴状 を 発送した。

(9)は、(5)と(8)同様、単数の有生物が先行しているが、述語は感情動詞ではない。また、中西(2010)で「有生物+“e”」の例として挙げているのは全て3人称であるが、1・2人称には“e”が後接できないのかという疑問が残る。

このように、“e”は単に有・無生物の違いによって使い分けされるとは限らず、これについては条件を新たに見直す必要がある。

2.2 仲村(2006)

仲村(2006)は、二格と“ege”を対照研究したものであり、代用形態について本格的に論じたものではない。その中で“hante”、“deoleo”、“bogo”について触れているが、“ege”と“hante”は意味の差はなく、文体によって使い分けされるとし、“deoleo”と“bogo”は、対象を直接見ながら話す場合、間接引用文、「話す」類の述語と共起する場合を生起条件として挙げた。また、“deoleo”と“bogo”は、“hante”より使用範囲が狭いという。

しかし、“deoleo”と“bogo”の生起条件についての記述には疑問が残る。例文(10)の文法性の判定は仲村(2006)による。

(10) 전화로 동생에게/ 동생한테/ ??동생더러/ *동생보고 날씨가 좋다고 했다. (p.29)

jeonhwa-lo dongsaeng - ege/hante/??deoleo/*bogo nalssi-ga johdago haessda.

電話 で 弟 に 天気 が いい と 言った。

(10)が間接引用文であるにもかかわらず、“deoleo”と“bogo”の使用が不自然なのは、電話という手段を通じており、会話場面が直接対面している状況という条件が満たされていないためと説明している。状況を変えて(11)を見てみよう。

(11) 가을 하늘-을 보며 동생-에게/한테/??더러/보고 날씨-가 좋다고 했다.

gaeul haneul-eul bomyeo dongsaeng-egge/hante/??deoleo/bogo nalssi-ga johdago haessda.

秋 空 を 見ながら 弟 に 天気 が いい と 言った。

(11)は、弟に直接話しかけている状況を想定した文であるが、“deoleo”の不自然さはさほど変わらない。また、(10)における“bogo”の使用は仲村(2006)では非文としているが、筆者には自然と感じられる。

仲村(2006)のいう直接話す場面ということが“deoleo”と“bogo”が出現するための必須条件であるのか疑問である。また、仲村(2006)の議論によれば、“deoleo”と“bogo”は同じ条件で代用可能であるはずであるが、(11)のように“deoleo”だけが落ち着きがよくないことをみると両者が同等の性質を持つとは言いがたい。

2.3 本稿の課題

ここまで明らかになった点や本稿で検討すべき点をまとめる。

1)二格と“ege”は、有生物に後接するとき違いが見られる。

韓国語においても“ege”と“e”は有生物をとる場合に検討すべき問題があった。無生物だけをとりといわれる“e”も有生物に後接することが可能であると考え。ここでは、“e”が無生物とだけ共起することへの反論を提示する。

2)“deoleo”と“bogo”の生起条件について詳細なところまで検討した研究が少ないなか、これらを一括りに扱う傾向にあった。しかし、大まかな検討を通じ、両者の生起条件が一致しないことを確認した。それぞれの生起条件について検討を行う。

3. “e”の意味機能—無生物化

“ege”と“e”は、先行名詞が有生物か無生物かで使い分けされるといわれる。しかし、中西(2010)でも言及されているように、“e”を有生物に用いる場合がある。中西(2010)は「単数の有情物の場合、感情動詞との結合が多く見られる」としたが、その反例として本稿は以下(9)を挙げ、検討の余地があることを示した。まずは、この問題について考えるべく先行名詞が3人称の例を挙げ検討を行う。次に、1・2人称の場合について考える。

(9)と(12)は特定の人物に、そして(13)と(14)は集合名詞にそれぞれ“e”と“ege”が後接する例である。

(9) 검사-는 이씨-에/에게 공소장-을 발송했다. (再掲)

geomsa-neun issi-e/ege gongsojang-eul balsonghaessda.

検事 は 李氏 に 公訴状 を 発送した。

(12) 츠마부키사토시-에/에게 열광하는 사람들. [東亜日報 2008]

cheumabukisatosi-e/ege yeolgwanghaneun salamdeul.

妻夫木聡 に 熱狂する 人たち。

(13) 스타들-에/에게 밀려 좀처럼 자기 자리-를 찾지 못하다가...⁷ (中西 2010:21)

seutadeul-e/ege millyeo jomcheoreom jagi jarireul chatji motadaga,

スターに押されてなかなかポジションを得られずにいたが、

⁷ “ege”の例として取り上げられた文であり、“e”は筆者による。日本語訳は中西(2010)によるもので、“seutadeul(スターたち)”を「スター」と訳しているが、中西(2010)では集合名詞とされている。

(14) 어려운 국민들-에/에게 기쁨주려 레이저쇼-와 불꽃축제 준비

[ノーカットニュース 2008.7.18]

eoryeoun gungmindeur-e/ege gippeumjuryeo reijeosyo-wa bulkkotchukje junbi

生活の厳しい 国民 に 喜びを与えようとレーザーショーと花火大会準備

結論からいうと、本稿は“e”をとる先行名詞は「無生物化」が行われたものとする。本稿における無生物化とは、有生であるものを無生として捉え直すプロセスのことであり、無生物化には領域の拡大が前提となる。領域の概念に関しては、中西(2010)で“ege”を「対象の空間化」としている点に通じる。中西(2010)は、「에게[筆者注“ege”]は先行名詞の有情性を維持しつつその周囲に空間を設定する機能を有する(p.29)」と論じている。

本稿は、このような領域を“ege”だけでなく、“e”が有生物をとるときにも深く関与する性質であるとする。(9)の「李氏」⁸の場合は、公訴状が到達する地点としての空間、すなわち、「李氏」という人物を取り囲む領域を「李氏の家」に公訴状を送る」のように拡大することができる。また、(12)の「妻夫木聡」の場合は、表面上は特定の人物としてしか捉えられないが、解釈上は「俳優業をしている人物」の活動を、その人が持つ領域として広げることができる。

一方、(13)と(14)の「スター」、「国民」は集合名詞であるが、中西(2010)でも感情動詞の例文を挙げ、集合名詞や複数名詞の場合“e”と結合するとしている。(12)は感情動詞ではないが自然であることから、少なくとも感情動詞である必要はなさそうである。集団・組織などの群れを表すこのような集合名詞は、特定の個人を指すわけではないため、最も無生物化しやすい名詞であるとする。

以上で、3人称単数の有生物である場合、領域の拡大の意味を持ち得る無生物化が容易であるものや集合名詞は“e”をとることが可能ということを確認した。

次は、人称代名詞について検討を行う。

(15) 검사-는 나/너/그(그 사람)⁹-*에/에게 공소장-을 발송했다. ((9)の修正)

geomsa-neun na/neo/geu(geu saram)-*e/ege gongsojang-eul balsonghaessda.

検事 は 私/あなた/彼 に 公訴状 を 発送した。

(16)a. 그-는 나-*에/에게 선물-을 보낸 후, 연락-을 끊었다.

geu-neun na-*e/ege seonmul-eul bonaen hu, yeonlag-eul kkeuneotda.

彼 は 私 に プレゼントを 贈ったあと、連絡 を 切った。

b. suni-는 너/그(그 사람)-*에/에게 선물-을 보낸 후, 연락-을 끊었다.

sun-i-neun neo/geu(geu saram)-*e/ege seonmul-eul bonaen hu, yeollak-eul kkeuneotda.

スニ は あなた/彼 に プレゼントを贈ったあと、連絡を切った。

⁸ 例文に関する議論の際、便宜上、日本語で表記する。

⁹ 韓国語における3人称代名詞は、“geu(彼)”も使用されるが“geu saram(あの人)”の方が自然である。

(17) 나/너-*에/에게 열광하는 사람들. ((12)의修正)

na/neo -*e/ege yeolgwanghaneun saramdeul.

私/あなた に 熱狂する 人たち.

(18) 그(그 사람)-에/에게 열광하는 사람들. ((12)의修正)

geu(geu saram)-e/ege yeolgwanghaneun saramdeul.

彼 に 熱狂する 人たち.

上記は 1~3 人称代名詞が使われた例文であり、(15)~(17)で示されたように 1・2 人称代名詞はどのような文においても“e”をとることはできず、非文である。1・2 人称については後で述べることとし、ここで注目するところは、3 人称単数や集合名詞の場合は動詞を問わず成立すると前述したが、(15)と(16b)の 3 人称代名詞の場合は、非文となることである。

3 人称代名詞の場合は成立が難しいと考えられるが、相手が不特定の人物か特定の人物かによって許容度に差が現れると見られる。その理由として無生物化が容易にできないことが挙げられる。(15)と(16b)は特定の人物である場合、(19)と(20)は不特定の人物を指す。

(15) 검사-는 그(그 사람)-*에 공소장-을 발송했다. (再掲)

geomsa-neun geu(geu saram)-*e gongsojang-eul balsonghaessda.

検事 は 私/あなた/彼 に 公訴状 を 発送した。

(16b). 순이-는 그(그 사람)-*에 선물-을 보낸 후, 연락-을 끊었다. (再掲)

sun-i-neun geu(geu saram)-*e seonmul-eul bonaen hu, yeollak-eul kkeuneotda.

スニ は あなた/彼 に プレゼントを贈ったあと、連絡を切った。

(19) 카메라-에 저장된 얼굴-과 이름-을 기억하여 그 사람-에 맞는 최적의 환경-으로 촬영할 수 있다. [プライム経済 産業 2010.4.12]

kamera-e jeojangdoen eolgul-gwa ireum-eul gieokhayeo geu saram-e manneun choejeogui hwangyeong-euro chwaryeonghal su itda.

カメラに保存された顔と名前を覚えてあの人(彼)に合った最適な環境で撮影できる。

(20) 보이지 않는 누군가-를 설득하고 그 사람-에 도움-이 되는 정보-와 상품-을 제공해... [プライム経済 アウトソーシング一般 2011.10.18]

boiji anneun nugunga-reul seoldeukhago geu saram-e doum-i dooneun jeongbo-wa sangpum-eul jegonghae...

(目)に見える誰かを説得しその人(彼)に役に立つ情報と商品を提供し、

(19)は日本語では「彼」と言えないが、商品のメリットについて述べている記事であり、「彼」は一般の人、つまり不特定の人物を指す。(19)と(20)の“e”は、不特定の有生物を相手にとるため、無生物化しやすく“e”が許容される。(15)と(16b)の“e”が特定の相手をとる場合は、結合する動詞に制限されると考えられるが、詳細は今後の課題としたい。

ところで、用例数は非常に少ないが、以下のような用例が見られた。

- (21) 니트, 그녀-에 다가가고 싶다. [ヘラルド經濟 生活/文化 2011.10.6]
niteu, geunyeo-e dagagago sipda.
ニット、彼女に近づきたい。

(21)は、記事の題名であり、「ニットを着ている女性が魅力的で近づきたくなる」という意味である。「ニット」という衣服でもって女性を指示するというメトニミーであるので、「彼女」を無生物化しやすい。

したがって、無生物化は「3人称+“e”」の許容度に影響する一つの要因と考えられる。

一方で、(17)と同じく「熱狂する」と結合する(18)の3人称代名詞の場合は自然であるが、これは動詞の性質によるものと考えられる。「熱狂する」のような感情動詞は、原因となる対象を要求する。有生物をとっていても、原因となるのはその有生物に関わる行為や属性であるため、有生物が持つ領域を拡大させることが容易である。(12)や(18)の「妻夫木聡/彼」に対し「熱狂する」という行為の原因となるものは一つといえないだろう。

以上をまとめると、3人称単数や集合名詞は動詞に制限がなく“e”をとるが、3人称代名詞の場合は感情動詞と結合する場合“e”が自然であり、感情動詞でない場合は相手が特定できるか否かに影響されると考える。

ここまで3人称の問題を押さえたところで、1・2人称代名詞について検討する。

(15)~(17)の例で1・2人称代名詞は“e”は非文であることを示した。しかし、表現を加えれば「1・2人称代名詞+“e”」が成立することとなる。以下、例文を挙げる。

- (22) 포인트-는 우리 나/너/그 자신-에 영향-을 끼치는가 하는 것이다.
point-neun uri na/neo/geu jasin-e yeonghyang-eul kkichineunga haneun geonnida.
ポイントは我ら私/あなた/彼自身に 影響 を 与えるか という ことだ。
- (23) 너 스스로-에 먼저 흑독해라. [東亜日報 1990]
neo seuseuro-e meonjeo hokdokhaera.
あなた自身(=己)に まず 厳しくなれ。
- (24)a. 누구-도 나-*e/에게 닥칠 질병-과 사고-를 내다볼 수 없다는 점이다. [東亜日報 2002]
nugu-do na-*e/에게 dakchil jilbyeong-gwa sago-reul laedabol su eopdaneun jeomida.
誰 も私 に 差し迫る 病と 事故 を 見通すことはできないという点だ。
- b. 나/너/그 자신-에 닥칠 질병-과 사고-를 내다볼 수 없다는 점이다.
na/neo/geu jasin-e dakchil jilbyeong-gwa sago-reul laedabol su eopda neun jeomida.
私/あなた/彼自身に 差し迫る 病と 事故 を 見通すことはできないという点だ。

上記の例は、“e”に先行する名詞が「自身」、「己」といった形式¹⁰が使われている点で共通する。(24a)は実際には“ege”が用いられた文で、“e”に置き換えると不自然となる。しかし、(24b)のように“e”に「自身」を付け加えると人称を問わず“e”が許される。

韓国語で「自身」、「己」といった形式は、強調の用法を持つとされる(김(金 2005))。このような形式は、前接の人称代名詞を指示しており、指示を二重化することによって“e”がとりやすくなると考えられる。「自身」、「己」といった形式についてはその機能を含め考える必要があるため、今後の課題とする。

最後に残る問題は、なぜ1・2人称が不自然なのかということである。3人称に比べ、1・2人称の落ち着きが良くないのは、一言でいえば、無生物化が難しいためであると考えられる。3人称は、その場に存在しなくても良く無生物として扱いやすいため、上述したように有生物が持つ領域を拡大させることが容易である。しかし、1・2人称は語り手や聞き手であり、その場に存在するため、目の前の存在を無生物化することが難しいと考えられる。

本稿では、単に先行名詞の意味特徴で“ege/e”が使い分けされるのではなく、“e”はある条件下で有生物とも結合することを確認した。無生物化というプロセスを経た有生物は、3人称に限って“e”をとることが可能であり、1・2人称でも「自身」、「己」などの形式を付加すれば“e”が用いられることを明らかにした。

4. 代用形態“deoleo”と“bogo”の生起条件について

ここでは、“ege/e”の代用形態とされる“deoleo”と“bogo”の意味機能及び生起条件について検討を行う。

4.1 “deoleo”の生起条件—使役性

先行研究でもしばしば指摘されているように、“deoleo”とよく共起する述語は「話す」類である。また、「命令する」などの使役性を帯びるものとの結合も多い。

(25) 선생님-은 다 뜯어서 나-더러 세어 보라고 하셨다. [良い考え 2000]

seonsaengnim-eun da tteudeoseo na-deoleo seo bolago hasyeosda.

先生 全部 開けて 私 に 数えてみてとおっしゃった。

(26) 이 여자-를 나-더러 책임지라는 말이야? [ユン・ホンギル 1987]

i yeoja-reul na-deoleo chaegimjilaneun maliya?

この女を私に責任取れっていうの(意味なの)。

これは、“deoleo”の語源を辿ってみると納得の行く現象である。与格助詞の形成につい

¹⁰ 「自分」に当たる韓国語の語として、「자기(自己)」と「자신(自身)」の二つの表現がある。厳密に言えば前者は肉体的な面を、後者は精神的な面を指すと考えられる。「스스로(seuseuro)」は日本語の「己、自ら」に相当する表現である。

て先行研究(金 1982、李 1986、유(柳)2008 など)では、“deoleo”の語源を動詞から成るものとしている。“deoleo”は、動詞「다리다(darida)」から発達したもので、「다리다(darida)」の意味は、「目下の人を身近に置いておく、または付きまとわせる」である。“deoleo”が、使役性を帯びる文でよく用いられるのは、このような原意に基づくと想定できる。

ここで、使役性についてさらに考えてみる。

- (27) 로라-더러 잠깐이라도 모델-이 되어달라고 부탁했지.
그랬더니 아주 기뻐 하더라구. [ソン・ヨン 2003]

lola-deoleo jamkkanilado model-i doeodallago butaghaessji.
geulaessdeoni aju gippeo hadeolagu.

ローラにちょっとだけでもモデルになってほしいってお願いしたの。
そしたら凄く喜んでね。

- (28) 너-는 잠자코 있어! 누가 너-더러 물었어? [ハ・イルジ 1993]

neo-neun jamjako iseo! nuga neo-deoleo mureoseo?

あなたは黙ってて! 誰があなたに聞いた。

- (29) 그날 좀 늦게 나타난 당신-은 나-더러 봄꽃 보다 더 화사하다고 했어요.

[クオン・ジエ 2002]

geunal jom neujge natanan dangsin-eun na-deoleo bomkkochboda deo hwasahadago haesseoyo.

その日 少し遅れて現れたあなたは私に春の花より・もっと華やかだと言いました。

(25)~(29)は、全て発話動詞が使われている点で共通する。しかし、異なる点は、(25)~(28)は相手に要求なり働かせる意図が感じられるが、(29)はそのような意図が感じられず、使役性を帯びない。言い換えると、使役性が強く感じられない状況でも“deoleo”の標示が可能ということとなる。

すると問題は、“deoleo”は他の代用形態とどのような意味的違いをなすのかということである。さらに以下の例を挙げ、検討する。

- (30) 남자애들-은 여자애-보고/*더러 개-는 집-에 간 모양이다,
댜 데-로 간 모양이다, 뭐 그러면서. [キム・ヨンハ 2001]

namjaaedeureun nyeojaae-bogo/*deoleo gyaen-neun jibe gan moyangida,
ttan de-ro gan moyangida, mwo geureomyeonseo.

男の子たちは女の子にあの子は家に帰ったみたい、
他の所に行ったみたい、そんなこと言いながら。

- (31) 나-보고/?더러 연애하러던 계집애. [キム・ヒョンヨン 2000]

자기 할머니-를 팔팔한 멋진 총각-한테 시집 보낸단던 계집애.

na-bogo/?deoleo yeonaeharadeon gyejibae.

jagi halmeoni-reul palpalhan meotjin chonggak-hante sijip bonaendadeon gyejibae.
私に恋愛しろと言ってた小娘。

自分のお婆さんを若くてかっこいい男性にお嫁にいかせると言ってた小娘。

(32) 결혼식-에 초대해 준 친구-는 나-보고/??더러 많이 즐기고 가라고 했다.

gyeolhonsig-e chodaehae jun chingu-neun na-bogo/??deoleo mani jeulgigo garago haetda.

結婚式 に招待してくれた友だちは私 にたくさん楽しんで帰ってと言った。

(30)~(32)は、もとの文は“bogo”が使用されたもので、(25)~(29)と同じく(30)~(32)も発話動詞を用いている。しかし、(30)のような使役性を帯びず、相手にどのような働きかけもなさない文では“deoleo”は非文となる。また、(31)と(32)のように相手に何らかの働きかけは行っているものの、それが相手側にマイナス的な影響を及ぼすような行為でない場合は“deoleo”は不自然である。また、1.2の例(11)を再度取り上げると、この文には感想を相手側に伝えるだけの文意しか読み取れず、使役性は感じられない。そのため、仲村(2006)の主張する直接対面の状況を想定し、文脈を変えても“deoleo”の不自然さは変わらないと判断される。

(29)は、唯一使役性を帯びない文で“deoleo”が許容される例であるが、これについて現段階では反例として残るが、“deoleo”の与格として機能がうかがえる例文ともなる。

要するに、述語が発話動詞で使役性を帯びる場合は、“deoleo”が問題なく許される。が、使役性が弱いか、あるいはない場合には“deoleo”の許容度が低い。

ところで、“deoleo”が他の与格と異なる点として、二重与格助詞の使用が可能である¹¹ということが挙げられる。二重与格助詞は、同じ与格でありながら“hante”に“deoleo”が後接するようなものである。基本的には、“deoleo”は“hante”としか結合しない。これは使役性とも関連付けて説明できる。

(33) 철수-한테더러 그거 가지고 오라고 해.

cheolsu-hantedeoleo geugeo gajigo olago hae.

チョルス に それ 持ってこいと言って。

“hante”と“deoleo”の格機能が同一であり、“hante”が与格の機能を担うと仮定する。すると“hante”と“deoleo”は格の機能が衝突してしまう。しかし、“deoleo”が付加的意味要素を加えると考えれば解決する。ここでいう付加の意味要素とは、使役性である。

[表面的意味] チョルスに持つてくるように言う。

[意味添加] チョルスに持つてこさせる。^[+使役性]

¹¹ この現象はネイティブチェックの結果、個人差があるようである。文法化の過程で個々人の受け入れ方に差が現れた結果と推定する。これを“deoleo”が他の代用形態より格助詞としての機能が特殊であると解釈するべきか、それとも格助詞としての機能が他より弱いとするべきか、より検討が必要である。

[表出] チョルス[hante-deoleo]それ持ってこいと言って。

与格 使役

上記のような議論に基づくと、与格である“ege”も“deoleo”に前接することが文法的に許されるはずであるが許容されない。これは文体の矛盾によるものとする。“hante”と“deoleo”は話しことばで用いられるため違和感がないが、“ege”は書きことばでよく用いられるため文体的な矛盾により相容れない。

上記の議論は、使役性を帯びない例として取り上げた例で“hante-deoleo”の使用が不自然であることが裏付けとなる。

(34) *남자애들-은 여자애-한테더러 개-는 집-에 간 모양이다, ((30)の修正)

namjaaedeut-eun nyeojaae-hantedeoleo gyaeneun jibe gan moyangida,
男の子たちは女の子に あの子は家に帰ったみたい、

(35) *나-한테더러 연애하러던 계집애. ((31)の修正)

na-hantedeoleo yeonaeharadeon gyejibae.
私に恋愛しろと言ってた小娘。

(36) *친구-는 나-한테더러 많이 즐기고 가라고 했다. ((32)の修正)

chingu-neun na-hantedeoleo mani jeulgigo garago haetda.
友だちは私にたくさん楽しんで帰ってと言った。

4.2 “bogo”の生起条件

“bogo”を取り上げた研究のほとんどは、それを文法化が進んだ結果と見るか、あるいは、その途中にあるものと見るかについて論じているものである。

まずは、議論の出発点として“bogo”の語源について触れておきたい。“bogo”は、“deoleo”と同様、その語源は動詞「(-eu)boda(～ヲ見る)」から成るものであり、動詞の活用形が助詞として残ったものである。語源と関わる問題については再度取り上げることにし、次は、“bogo”の生起条件について検討する。

仲村(2006)は、“bogo”の出現条件として、直接対話する場面を想定することを挙げている。しかし、必ずしも聞き手が眼前に存在しなくても良いと考えられる。

(37) 어머니-는 3일 전, 나-보고 귀국하라는 의사-를 아버지-를 통해 전했다.

eomeoni-neun 3il jeon, na-bogo gwigukharaneun uisa-reul abeoji-reul tonghae jeonhaetda.
お母さんは3日前、私に帰国しろという意味をお父さんを通じて伝えた。

(30) 남자애들-은 여자애-보고 개-는 집-에 간 모양이다, (再掲)

namjaaedeut-eun nyeojaae-bogo gyaeneun jibe gan moyangida,
男の子たちは女の子にあの子は家に帰ったみたい、

(37)は主語(お母さん)がお父さんという人物を仲介し意思を伝達しているため、主語が相手(私)と向かい合っている状況ではないが“bogo”の使用は自然である。(30)は「女の子=あの子」で同一人物であるが、女の子は会話の状況から見て既にその場にいないと判断される。また、1.2 で取り上げた以下の例も直接対話する場面でないが、自然であると既述した。

- (11) 전화-로 동생-보고 날씨-가 좋다고 했다. (再掲)
jeonhwa-lo dongsaeng-bogo nalssi-ga johdago hayeosdda.
電話 で 弟 に 天気 がいいと 言った。

上記のように「(視覚的に)見える」、「目の前にある」といった場面でなくても“bogo”が許容されることが確認できる。つまり、直接対話する場面でなくても“bogo”は用いられる。ところで、“bogo”はそれが文中で動詞か助詞かの判断が難しい場合がある。

- (38)a. 동생-보고 날씨-가 좋다고 했다. ((11)の再掲)
dongsaeng-bogo nalssi-ga johdago haessda.
弟 に 天気 がいいと 言った。
b. 동생-을 보고 날씨-가 좋다고 했다.
dongsaeng-eul bogo nalssi-ga johdago haessda.
弟 を見て 天気 がいいと 言った。

(38a)の場合、「弟三天気がいいと 言った」とも、「弟ヲ見て天気がいいと 言った」とも解釈できる。もし、もとの形が(38b)の「弟ヲ見て」であり、“eul(ヲ)”が省略され(38a)の形になったとすれば、“ege”の代用として“bogo”が現れるのは、このような“bogo”が持つ曖昧さ、つまり、動詞としての解釈を排除できないためであるとも考えられる。これは“deoleo”の場合と似ており、文法化の途中であるがゆえに持つ性質であろう。

従来は、このような性質を持つがゆえに“bogo”は目に見える相手でなければならないとされる場合があったが、本稿の検討を通じ、必ず必要とされる条件でないことを明らかにした。しかし、(38)のような動詞か助詞かの識別が難しい場合も存在することから、“bogo”の本来持つ動詞としての性質が、結果として“bogo”の出現に影響を与えることは否めず、文法化がまだ定着していない証拠ともなる。

本稿は、“bogo”を与格助詞として認める立場に立つが、他の与格助詞よりは格助詞としての機能が完全でないと考ええる。

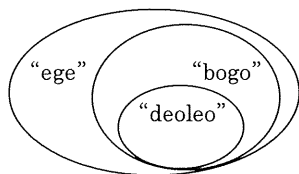
5. まとめと今後の課題

本稿では、韓国語の“ege”の代用形態である“deoleo”と“bogo”を取り上げ生起条件について述べた。また、“e”の先行名詞についても検討した。

本稿の主張は、“e”は有生物をとり、“deoleo”と“bogo”はそれぞれで生起条件が異なるということであった。以下、簡略にまとめる。

- 1) 無生物に付くとされる“e”は、基本的には3人称の無生物化された名詞に後接する。「自己」、「己」といった形式が用いられる場合は、人称を問わず“e”が用いられる。
- 2) “deoleo”は、使役性を帯びる文で出現する。使役性が弱いとされる場合は不自然となる。
- 3) “bogo”は、話し手と聞き手が面と向かって発話する状況が求められるとされたが、直接対話する場面でも使用される。

しかし、残る問題も多い。まず、無生物化については十分な記述ができなかった。また、今回はそれぞれの助詞を観察したが、相互の意味範囲に関して明らかにすることができなかった。仮定であるが、“ege”と“deoleo”、“bogo”の関係は以下のように示せるのではないかと考える。詳細な検討は今後の課題となるが、“bogo”が使われた文を“deoleo”には置き換えができない(11)、(30)のような例文が見られ、また、使役性を帯びる文((25)~(28))で“bogo”が文法的であるという理由からである。



【主要参考文献】

- 中西恭子(2010)「現代韓国語の「与格」助詞에게について－日本語「に」との対照を中心に－」
『人文論叢』58号、pp.19-34、京都女子大学人文学会
- 和氣愛仁(2002)「助詞「に」をともなう成分の研究」博士(言語学)学位論文、筑波大学
- 金昇坤(1982)「한국어 조사의 어원 연구 (Ⅱ) An Etymological Study of Korean Particles」
Vol.26 No.1、『학술지 자연과학예술체육 가정학편』건국대학교 학술연구소
- 김영희(2005)『한국어 통사 현상의 의의』역락
- 仲村美香(2006)「일본어 격조사 ‘に’에 대응하는 한국어 표현 교육방안 -‘に’의 ‘에’ 이외의 표현을 중심으로-」외국어로서의 한국어교육 전공、한국외국어대학교 교육대학원
- 박만수(1985)「토씨「에」의 연구」『国語国文学論文集』6、pp.211-235、東亜大学校国語国文学科
- 유민호(2008)「여격 조사의 형성과 변천」『고려대학교 세종학술정보원』
- 李南淳(1986)「에게의代用形態 ‘한테, 더러, 보고’의 文法」『震檀學報』61、pp.153-172、
震檀學會
- 홍기문(1947)『朝鮮文法研究』서울신문사

【用例出典】

「世宗コーパス」 21 世紀世宗計画、文化観光部 2000 (<http://www.sejong.or.kr/>)

ノーカットニュース (<http://www.nocutnews.co.kr/>)

ヘラルド経済 (<http://biz.heraldm.com/>)

プライム経済 (<http://www.newsprime.co.kr/>)